

古事類苑

飲食部十五

羹

羹ハ、カント云フ、魚鳥菜果等ヲ原料トシ、寒天ヲ以テ之ヲ凝結セシメタルモノナリ、羹ハ多クハ其形狀ヲ以テ名トセリ、而シテ羹ヲ菓子ニ製スル者ハ、菓子篇ニ載ス、

名稱

〔易林本節用集加服〕羹カシ羊羹、魚羹、
〔書言字考節用集六服食〕羹カシ雲月羹、

〔倭訓栞前編六〕かん 食物にかんといふは、羹字也、

種類

〔下學集下飲食〕鼈羹ヘツカシ 鷺腸羹ロチヤウ 松露羹シヤウロ 羊羹ヤウカシ

〔撮壤集下飲食〕羹類

驢腸羹ロチヤウカシ 鰾羹ヘツ 羊羹ヤウ 砂糖羊羹サタウヤウ 寸金羹ジユンヤウ 笋羊羹シュンヤウ 白魚羹ハクイシ 雲織羹ウンシ 温糟ウンサウ 水織スイセン 水晶包スイシヤウバウ

子 糟雞サウケイ 三峯尖ホウ

〔庭訓往來〕點心者、水織、温糟、糟雞、鼈羹、猪羹、驢腸羹、笋羊羹、鮮羹、海老羹、寸金羹、月鼠羹、雲鱸羹、菹羹、

○鮮羹以下 砂糖羊羹、○中 御齋之汁者豆腐、辛辣羹、
據五山本補

〔宗五大草紙上〕かんの名の事

一三寶膳鱸腸ろちやうかん、べつかん、うんせんかん、竹葉やうかん、はくぎ魚よかん、すいせんかん、すい金

かん、けん卷餅ひんかん、さたうやうかん、やうかん、少ちがひ候かうどん、まんぢう、是ハかんとも申候、猶可尋、